

カウンセリングのお作法 第九回

CON こんカウンセリングオフィス中島 中島(みずとり)弘美



家族理解の手立て その二 ミニューチンの家族構造

家族構造は境界線と提携と権力

さまざまな家族療法のスタイルが誕生して
拡がり始めたころ、理論の枠組みに応じて、「○
○派」と呼んでいました。

今回は、その一つである家族療法構造派の話
をします。

「構造派」と呼ばれるのは、アメリカのサル
バドール・ミニューチンです。

フィラデルフィア・チャイルド・ガイダン
ス・クリニックつまり、日本の児童相談所にあ
たるところで、多くの子どもや家族にかかわり、
同僚とともに研究を重ね、支援をしました。
なかでも摂食障害の子どもとその家族への
アプローチに注目が集まりました。

健康的に機能している家族は、適切に組織化
された構造を持つと主張し、問題を抱えている
家族の再構造化を目標にしました。

そこで、家族の構造を理解するための概念を
三つあげました。

・境界線 Boundary

「家族のメンバーそれぞれが、どのように関
与しているか、子ども世代、親世代、祖父
母世代等の区別を境界線であらわす

・提携 Alignment

「家族のうち、だれとだれが組んでいて、協
力関係か、相反する関係か

・権力 Power

「家族の相互作用のなかで、だれが影響力を
持っているか

境界線バウンダリーについて、さらに話しま
す。

親夫婦世代と、子どもきょうだい世代の
境界については、**固い、明瞭、あいまい**、の三
つの状態があると示しています。

境界線が固い場合は、家族はバラバラで遊離
状態にあると考えます。お互いに関心を持ちに
くく、コミュニケーションの量も少ないという
状態です。

明瞭な境界線を主とする家族は、健康度が高
い状態です。適切な距離感でコミュニケーション
が行われていると考えられます。

あいまいな境界線を主とする家族は、その構
成員は、あらゆる問題に関してお互いに引き込
まれ、必要以上に関与し過ぎると考えられます。

構造派 サルバドール ミニューチン



はてな子さん カウンセリング初学者

家族療法の構造派？

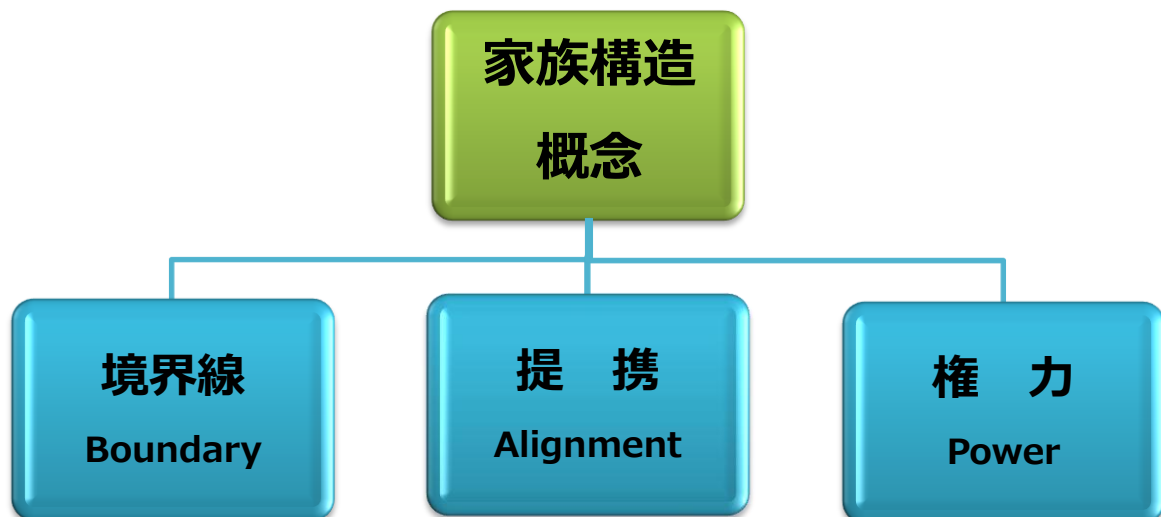
少しずつ難しくなってきた気がします。巻き込まれる状態って、過保護、過干渉の親ってなんかじなのかな。



CON子さん 心理カウンセラー

ミニューチンは、三十年ほど前に日本にやって来たこともあるのですよ。

当時、少しずつ増えていた摂食障害の子どもとその家族へのアプローチで注目され、子どもと親世代の境界があいまいで、お互いに巻き込まれる状態を示しました。



健康的に機能している家族は、適切に組織化された構造を持つと主張しました

★ 家族理解の手立て その二

からみあつた家族 あいまいな境界線

病的な状態

あいまいな境界線や、固すぎる境界線が極度の場合には病的であると考えます。

そのあいまいな境界線についてさらに説明します。

親が子どもの領域に入り込んでいる状態とは、たとえば、子どもが子ども自身で対応すべきところを親が代わりに行動する状況です。

そして、子どもの方から親や夫婦の領域に侵入していく場合も同じです。両親の会話に入っ
て行き、一方の親について過度に心配するなど
です。

このような家族をあみの目(メッシュ)のよ
うにからみ合った家族と表現し、明確な境界を

引くことが健全さにつながると考えました。

親の領域に子どもを巻き込まない

大人の領域に関心を持ち過ぎている、あるいは心配し過ぎている子どもがいます。親や大人からすると、子どもが親や大人たちの領域に入ってきているということで、つまり、子どもの侵入を許す状況であると考えられます。

親世代と子ども世代の境界線があいまいになり、大人の立場と子どもの立場の区別が不明確になります。

「お母さん、どうして、あんなにだらしないお父さんと離婚しないの？」

などと子どもが発言し、母親が夫に対する愚痴をわが子にしゃべってしまうような習慣が定着しているとしたら、見直す必要があると考

えます。

子ども世代には子どもたちのコミュニケー
ションがあり、親や大人は、同世代でしか理解
できない事情や会話があります。

仲良し家族の落とし穴

お母さんと娘がどんなことも話しあえて、ま
るで姉妹のような親子だという状況があると
すれば、仲良し家族の落とし穴があるかもしれ
せん。母と娘が密接になりすぎて、二人が提携
してアルコール使用障害の父に対応する構図
などです。

母と娘の距離が近いことで、自分の気持ちな
のか、相手の思いを代弁しているのか、わから
なくなってしまうような状態です。

境界線
boundary

家族のメンバーそれぞれが、どのように関与しているか、子ども世代、親世代、祖父母世代等の区別を境界線であらわす

固い境界線 Rigid boundary	明瞭な境界線 Clear boundary	あいまいな境界線 Diffused boundary
遊離家族 Disengage family 	健康的な家族 	からみあった家族 Enmeshed family 



家族理解の手立て その二

ペアレンタル・チャイルド 親のような役割をする子ども

ひとり親家族

最近、離婚数増加の影響もあり、ひとり親家族が増えています。

親と子の二人だけの家族や、ひとり親ときょうだいだけの少人数家族の場合は、どうしても子どもがひとり親とのかかわりが密になり、たとえば、母親の相談相手のような存在になってしまう傾向があります。

PCIIペアレンタル・チャイルド

さらに、年下のきょうだいの世話をする機会が多いと、子どもであるにもかかわらず、まるでもうひとりの親のような役割をすることが

あります。この状態をPCIIペアレンタル・チャイルドと呼びます。

もうひとりの親

親は仕事や家事で忙しいため、どうしても年長の子どもをたよりにして用事を言いつけ、子どもその事情がわかつているだけに、年下のきょうだいに対して親的な役割を担うことになります。

しかし、子どもはあくまでも子ども。背伸びをさせたり、大人扱いをしすぎたりすることのないよう、まわりの大人の配慮が求められます。

最近でこそ少ないですが、きょうだいの多い家族の長男や長女は、もうひとりの父親や母親のように末っ子たちに対応することが昔から知られています。

もちろん、すべてを問題視しているわけではありませんが、家族のお互いの関係やかかわりから、親・大人世代と子ども世代の区別する視点を忘れないでいることが大切であると考えています。

参考文献

- 遊佐安一郎(1987)『家族療法入門システム
ズ・アプローチの理論と実際』星和書店、
中島弘美(2016)『児童心理・五六年生の家庭教育』親に批判的になる 家族カウンセリン
グの立場から」10月号臨時増刊金子書房

提 携
Alignment

家族のうち、だれとだれが組んでいて、協力関係か相反する関係か

連合 二者が第三者と対抗して提携する場合

例 アルコール使用障害の父に対して、母と子は連合して父に対抗する

同盟 二者が第三者とは異なる共同の目的のために提携することで、第三者との敵対関係を含まない

権 力
Power

権力 個々の家族メンバーが相互作用の過程を他者に与える影響力



P C (parental child)とは

年長の兄や姉が、年下のきょうだいの世話をする、親のような役割をする子どものこと

境界線侵害